



プレミアムデザイン

## P Vと同時発信が可能に

鈴木貞一・鈴憲毛織（株）社長



### 会社概要

- 業務内容 婦人服地製造販売
- 創 業 1946年(昭和21年)
- 設 立 1953年(昭和28年)4月
- 最新年商 約26億円
- 住 所 愛知県尾西市明地字井之内3-2
- 従 業 員 30名

現社長の鈴木貞一さんの父・憲一さんが、1946年に尾西市で婦人毛織物業を創業、合名会社を経て、1953年に株式会社を設立、1973（昭和48年）年に貞一さんが社長に就任した。従って、今年が会社設立50周年、社長就任30年のメモリアルイヤーになる。1986年（昭和61年）3月に現在地に本社社屋を建設、移転、その後敷地内に5階建ての「鈴憲テキスタイル資料館」を建設した。

鈴木さんに関して、氏を良く知る人は「尾州産地の経営者で、最も忍耐強く、頑張った人」と評価している。社長就任当時、社員よりも早く入社し、掃除をして働く環境を整備し続けた話は産地の語り草だ。

現在は日本毛織物等工業組合連合会（毛工連）の業務委員長など要職に付いているが、持論は「協力、共同は必要。それにも増して重要なのは自己努力」である。過去の経験が言わしめる重い言葉だ。「過去の蓄積の上に企業は成り立つ」との立場から、スマートな「資料館」も設置した。ここには「鈴憲50年の創作の蓄積」が保存され、今日に生かされている。

2003年3月期の売上げ構成は35%が春夏物、65%が秋冬物で、前期に比べて春夏比率が拡大した。「複合素材」を得手とする同社は「年間のシーズンバランス」を重視しており、同業他社に比較しても春夏ウエイトは高い。

テキスタイルメーカーとしての同社の強みは「PVと同時期に発信できること」と鈴木さんは語る。3年前にイタリアの会社と業務提携した成果である。子息の鈴木素材開発部



長の海外経験を生かした素材開発力、情報収集力も大きく功を奏し、プラダ、アルマーニ、ルイ・ヴィトンなどにも輸出している。「欧州の動きがよくわかる」と鈴木さんがいうのも納得できる。こうした輸出は商社を通さずに行っている。鈴木さんは「人材ですよ」とサラッと述べる。

「経営は若手だけではできない。経験者を生かしてこそ、総合的なパワーが生まれる」強い信念を感じさせる一言だ。